

2023 年度〈特定課題〉
先端技術と共創する新たな人間社会
募 集 要 項

共同研究プロジェクト
個人研究プロジェクト

募集期間 2023 年 9 月 22 日（金）
～2023 年 11 月 30 日（木）15 時（日本時間）

トヨタ財団の助成の基本的な考え方

トヨタ財団は下記の点を満たすものを助成の対象とします。

1. 社会的な意義が大きいこと
2. 内外の課題を先取りするものであること
3. 未来志向であること
4. 持続可能性、発展可能性があること
5. 波及効果が期待されること

1. 助成の趣旨

デジタル技術の飛躍的な発展を契機としたSociety 5.0の実現が模索されるなか、新型コロナウイルス感染症拡大への対応もあり、デジタル技術の活用が急速に進展し日常生活に浸透してきています。このようなデジタルトランスフォーメーション（DX）の加速を的確に捉え、たとえば法整備の遅れや倫理的・制度的問題、新しいコミュニケーションの形、学校・教育現場での積極的対応、少子高齢化が急激に進む日本社会の将来に向けた多様な活用のあり方など、先端的なデジタル技術をとりまく様々な課題に対応するプロジェクトを募集します。とりわけ生成/生成系AI（ChatGPTなど）は、いよいよ私たちの創作活動の領域にまで影響を及ぼしつつあります。時代の大きな変革を予感させる現実を踏まえ、将来を見据えた議論を展開し先端技術と共創する未来を描く、独創的な視点で野心的に取り組むプロジェクトが求められています。

こうした社会的背景/問題意識を踏まえ、トヨタ財団では特定課題として『先端技術と共創する新たな人間社会』を基本テーマに、次のいずれか一つ以上にかかわるプロジェクトの助成を行います。

- 技術開発そのものではなく、先端的な科学技術と社会とのかかわりについて問うもの
- 先端技術がもたらす変化に対し、ポジティブなものは活かし、ネガティブなものは克服し、人間のあり方を問うもの
- 新規性に溢れた発想で野心的に課題に取り組む若手研究者の育成、あるいは若手研究者らが議論する土壌をつくり実践していく先駆的な活動/場にかかわるもの

具体的な切り口としては、以下のような例を想定しています。

- ◆ 中長期視点に立ち、先端的な科学技術による社会的影響を学術的・理論的に考察する研究。特に、AI技術などをはじめとした、かつて人類が経験したことのない情報技術の飛躍的進展に関して、これまでの科学技術と社会とのかかわりと比較して何がどう異なるのかをマクロな視点から歴史的に検証する研究や、文理を超えて分野横断的に探究するもの、既存の制度的な枠組み等の課題と変革の方向性について考察するものなど。
- ◆ 先端的な科学技術の具体的な利活用に関する研究。先端技術を社会生活のなかで実際にどう活用できるか、現場での活動を踏まえて検証・提言を行うもの。いわば実践的な研究で、今まさに生起しつつある喫緊の課題に対処するもの。例えば、AI等デジタル技術と教育の視点では、①デジタル技術に適応していく上で必要とされる資質増進に資する教育、②AI等デジタル技術を適切に利活用するための教育、③AI等デジタル技術を取り入れた教育実践、④AI等デジタル技術ではなく人間にしかできない能力の育成といった四つの視点が想定されます。
- ◆ 研究者・技術者のネットワークづくりに寄与する活動。先端的な科学技術と社会とのかかわりを的確に捉えるために、理系と文系が問題意識を共有し両者が融合した成果を得ることを目指すもの。とくに若手を中心に、文理の垣根を超えた国際的な交流・ネットワークづくりを促進するもの。

本特定課題では、上記の視点にもとづく研究ならびに活動への助成を通じて、先端的な科学技術がもたらす社会変動を的確に捉え、私たちの社会をより豊かなものとすることを望んでいます。

2 助成の枠組み

◆ 助成分野

先端的な科学技術によってもたらされる社会的諸課題にかかわる分野

◆ 助成期間

2024年5月1日から最長3年間（登録時に1年間、2年間、3年間のいずれかを選んでください）

◆ 助成金額

総額：4,000万円（共同：3500万円程度、個人：500万円程度）

共同研究：1件につき 500万円～1,000万円程度

個人研究：1件につき 100万円～200万円程度

- * 企画書記載の「費目一覧」を参照し、対象となる範囲をご確認ください。なお、助成対象プロジェクトに直接的にかかわらない費用、組織・団体の一般管理費（オーバーヘッド）は予算として認められません（ただし、プロジェクトを運営する上で必要と認められる人件費については、謝金として予算に含めることが可能です）。
- * 技術開発が主たる目的ではないため、機材購入など研究設備に関する支出が全予算の10%を超えないようにしてください。
- * 必要な経費のみを積算して予算計画を立てるようにしてください。予算の妥当性は選考の重要な要素となります。

◆ 助成の対象

- (1) プロジェクト代表者の主たる居住地が日本国内で、且つ日本語で日常的なコミュニケーションがとれること。応募書類の受け付けは日本語のみとなります。
- (2) 先端的な科学技術を取りまく社会的諸課題の解決に資するプロジェクトであること。**技術開発が主たる目的の研究・活動は認められません。**
- (3) 助成期間中は財団と連絡を密に取り、財団が主/共催するシンポジウム等に参加すること。

共同研究プロジェクト：

- 2名以上による共同研究プロジェクトで、代表者の年齢が助成開始時に45歳以下であること。ただし、若手を中心にさまざまな世代による協働プロジェクトを奨励します。その他、所属・経歴等は不問。
- 文系と理系、研究者と実践者など、分野・領域を架橋するプロジェクトand/or 国際的な研究・活動に資するプロジェクトであること。設定した課題に対して、必要且つ適切な広がりをもつ分野・領域横断的なチームを形成すること。
- 書籍、映像、シンポジウム等、研究成果を広く社会にむけて発信するための計画を立て、助成期間中に達成できるよう取り組むこと。

個人研究プロジェクト：

- 助成開始時の年齢が40歳以下であること。所属・経歴等は不問。
- 先端的な科学技術をめぐる諸課題に対し、若手研究者が独創的・野心的にアプローチする萌芽的研究プロジェクトであること。柔軟で新規性に溢れた発想に基づくプロジェクトを歓迎。（萌芽的/個人研究であることから）研究成果の発信/社会的還元への程度は問わないが、研究の社会的インパクトを意識し、個人の業績が主目的の企画内容ではないこと。共同研究等への展開が期待される将来性のあるプロジェクトであること。

3 応募について

◆ 応募期間

2023年9月22日（金）～2023年11月30日（木）15時（日本時間）

* 応募期間終了後のお問い合わせには対応しかねますのでご了承ください。

◆ 応募言語

日本語

◆ 応募方法

以下のプロセスをご参照の上、トヨタ財団ウェブサイト上の〈特定課題〉「先端技術と共創する新たな人間社会」のページ (<https://www.toyotafound.or.jp/special/2023/advanced.html>) よりご応募ください。

応募者情報の登録 (応募エントリー)	「特定課題」⇒「2023年度」⇒「先端技術と共創する新たな人間社会」と進み、そのページ内にある【応募の受付はこちら】よりウェブ応募ページに入り、応募者情報の登録を行ってください。
応募書類の作成	ご登録いただいた電子メールアドレス宛に応募者専用ページの URL が送信されます。「基本情報」はシステムより直接入力し、「企画書」(Word) は書式をダウンロードし、必要事項を記入して、応募書類を作成してください。
応募書類の提出	応募者専用ページより、「企画書」を送信(アップロード)することで提出完了します。ご登録いただいた電子メールアドレス宛に、応募完了の通知を送信します。通知が届いていない場合は事務局まで速やかにお問い合わせください。

◆ 事前相談・説明会

応募にあたって、当財団の担当プログラムオフィサーに事前相談をすることができます。ご希望の方は、コンセプトノート(書式自由 A4, 1-2 枚程度)をご用意の上、電子メールにてお問合せください。

事前相談は、2023年11月16日(木)までとさせていただきます。

また、公募期間中、オンライン公募説明会を開催します。公募を検討されている方は、奮ってご参加ください。申し込み方法などの詳細はホームページをご確認ください。事前登録が必要です。

オンライン公募説明会

日時：2023年10月4日(水)16:00～17:00

2023年10月27日(金)13:00～14:00

公募説明会に参加されなくても応募は可能です。

◆ 応募にあたっての注意事項

電子メール、郵送、ご来所、FAX による応募は受け付けておりません。

- ・ **基本情報および企画書の差し替えは受け付けられません。**送信前に必ずご確認ください。
また、送信した基本情報および企画書のデータは、選考結果が通知されるまで必ず保管してください。
- ・ 応募書類を提出いただく際に、基本情報および企画書以外の資料は不要です。
- ・ ご提出いただきました応募書類等はお返しできませんので、あらかじめご了承ください。

- ・ 応募締め切り(2023年11月30日(木)15時)の直前は、回線が混雑し送信できない可能性がありますので、お早めにご応募ください。
- ・ 応募書類の記載に虚偽または重大な誤りがあった場合、助成を取り消すことがあります。

4 選考について

◆ 選考方法と選考基準

助成の可否については、外部有識者により構成される当財団「<特定課題>『先端技術と共創する新たな人間社会』選考委員会」(國吉康夫選考委員長・東京大学大学院情報理工学系研究科教授)で選考を行った上で、2024年3月に開催される当財団理事会で決定される予定です。選考の過程では、必要に応じ、企画書の内容に関するヒアリング調査への協力をお願いすることがあります。

選考基準は以下の通りです。

- (1) 応募内容が、「トヨタ財団の助成の基本的な考え方」および、プログラムの趣旨と要件に合致しているか。
- (2) 実施内容と想定される成果の見通しが妥当且つ適切であるか。
- (3) 共同研究プロジェクトは、プロジェクトチームが多様な人びとによって構成され、円滑な実施と波及効果が期待できるか。
- (4) 個人研究プロジェクトは、若手研究者の育成につながるもので、先端技術にまつわる社会課題に対して独創的・野心的に挑もうとする萌芽的な研究プロジェクトであるか。

◆ 選考結果

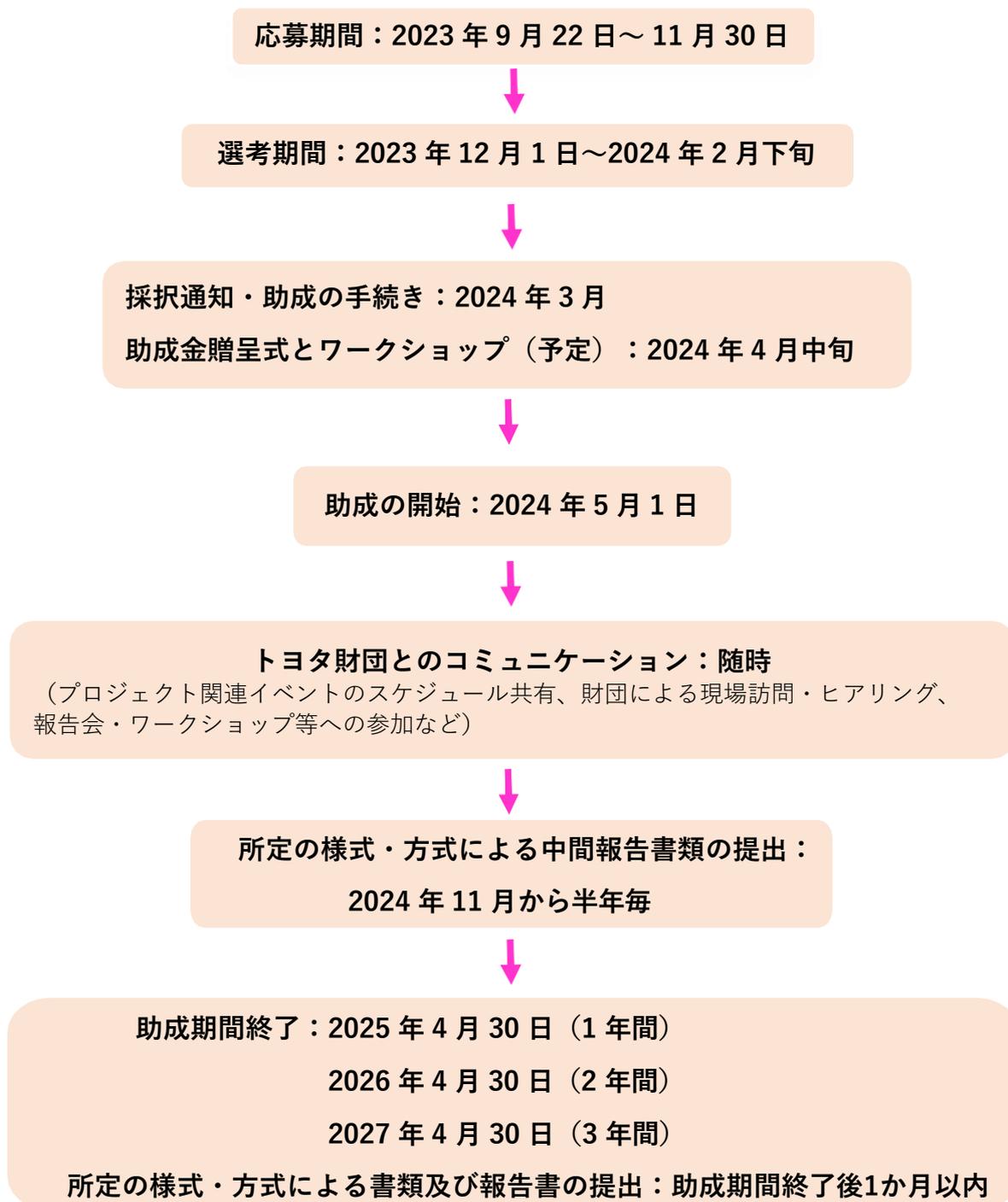
選考結果については、2024年3月下旬頃に応募時に登録していただいた電子メールアドレス宛てにお知らせいたします。電子メールが届かない場合、お手数ですが、当財団までお問い合わせください。

*採否の理由等、選考に関わる内容に対してのお問い合わせには一切応じかねますので、あらかじめご了承ください。

5 応募から助成までの流れ

助成対象者は、定期的な報告に加え、当財団の担当者と密にコミュニケーションを取りながらプロジェクトを進めることが求められます。また、財団が主催/共催する研究会・報告会などにご参加いただくようお願いいたします。

応募から助成決定、助成期間終了までに必要な事項とその時期は、以下のとおりです。助成期間終了後も2～3年を目途に、当財団の助成の質を上げ、プログラムの改善などを行う目的で報告をお願いすることがありますので、その際にご協力をお願いします。



6 その他

◆ 個人情報の取り扱いについて

応募書類から得た応募者の個人情報は、選考・審査および統計資料作成、本人への連絡等事務作業に使用します。また、法令で認める場合を除き、本人の同意なく上記目的以外に使用することはありません。

◆ 著作権について

本プロジェクトを実施した結果作成された成果物の著作権は全て助成対象者に帰属します。ただし、助成対象者の同意を得られた場合には、提出された報告書またはその内容の一部をもとに、トヨタ財団が成果をとりまとめた出版物等を作成することがあります。

【ご参考】トヨタ財団の他プログラム（2023年度）のご紹介

- ・国内助成プログラム
- ・国際助成プログラム
- ・研究助成プログラム
- ・特定課題「外国人材の受け入れと日本社会」

*各プログラムについての最新情報は、トヨタ財団ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.toyotafound.or.jp/>

お問い合わせ先

公益財団法人トヨタ財団

先端技術と共創する新たな人間社会 担当：加藤

Email: society-tech@toyotafound.or.jp

TEL : 03-3344-1701

※在宅勤務併用中につき、電話でのお問い合わせに対応できない場合があります。

ご連絡はできる限り電子メールでお願いします。